

天理市立西中学校
校長 小竹 仙哉

この春、西中学校に着任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほぼ毎朝、校門前の横断歩道に立って、子どもたちを迎えています。こちらを向いて自分たちからあいさつをしてくれる子どもたちが増えてきました。元気に登校してくる子どもたちを見ていると、本当にうれしくなります。西中学校のすべての子どもたちが、それぞれのもちあじを生かし合い、自分を大切に、そして、なかまを大切にしながら、人間性を高めていってほしいと願っています。

四月に一五三名の新入生を迎え、現在四五五名の生徒が西中で学校生活を送っています。五月八日から新型コロナが感染症の5類に移行され、感染対策を行いながら、いろいろな活動が実施できるようになりました。一年生は一泊二日の野外活動、二年生は京都校外学習、三年生は二泊三日の修学旅行(行き先は近畿周辺となりましたが)が実施できました。それぞれたくさんの思い出ができたことでしょう。

いつも行事の前に、生徒のみなさんに言っていることがあります。それは、「自分ごととしてしっかりと考え、自分の答えを持とう。」ということです。そうすることが自分を大切にすること、自分のもちあじを生かすことにつながると思います。これからも自分の答えを持つために、しっかりと考えることを大切にしていきたいと思っています。

また、西中学校の伝統として、始業式と入学式で生徒信条の話をしました。正門を入ってすぐ右側にある石碑に「やさしく、あたたかく、たくましく」という生徒信条が刻まれています。「やさしく」とは、相手の立場に立って考え、行動する「やさしさ」。「あたたかく」とは、互いを認めあい、支え合って生きようとする「あたたかさ」。「たくましく」とは、いかなる困難をも乗り越え、目標に通じる道を自ら切り開いていく「たくましさ」のことです。この信条を生徒だけでなく、教職員も家庭や地域の方々みんなが、これからも大切にしていきたいことにより、西中の学校生活がより充実したものになっていくと思います。この信条を西中学校の良き伝統として、大切にしていきたいと思っています。

今後とも、本校教育活動へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。